

みえクリエイティブ・ラボ 登壇者プロフィール(氏名五十音順)

○栗生 万琴(あおう まこと)さん



株式会社 LEO 代表取締役 CEO

なごのキャンパス 企画運営プロデューサー

武蔵野大学 アントレプレナー学部教授

名古屋大学 産学官連携 客員准教授

エンジニアとしてソフトウェア開発に従事した後、IT 人材サービス会社にて社内ベンチャーを立ち上げ、Web アプリ開発に特化した事業を手掛ける。TECH カンパニー女性初の役員に就任、アントレプレナーとして自社 WEB サービス事業分社、産学官連携スタートアップ推進プロジェクト責任者として従事。

2016 年 関西発 AI ベンチャー、株式会社エクサインテリジェンス(現 株式会社エクサウィザーズ)創業取締役 COO を経て、2019 年「なごのキャンパス」プロデューサー就任、2020 年 ZIP-FM「Startup [N]」のナビゲーター就任。

武蔵野大学 アントレプレナー学部教授、名古屋大学 産学官連携 客員准教授。

2021 年 4 月に共創の場～CO CREATION SPACE～AOU no MORI(三重県菟野町)に加え、2022 年 6 月に NAGONO WORK BAR & SAUNA(名古屋市円頓寺本町商店街)をオープンし、「ばづくり・まちづくり」に挑戦中。

2022 年 3 月 24 日名古屋市教育委員就任。

○生駒 芳子(いこま よしこ)さん



ファッション・ジャーナリスト/エディター

アート・プロデュース/伝統工芸開発プロデュース

日本エシカル推進協議会会長

株式会社アートダイナミクス 代表取締役社長

有限会社 UNDER GROUND(富永愛個人事務所)代表取締役社長

文化庁・文化審議会委員/文化経済審議会委員

内閣府・消費者委員会委員/クール・ジャパン官民連携プラットフォーム構成員

消費者庁:サステナブル・ファッションサポーター

経済産業省・日本ものづくり大賞審査委員

東京 2020 ブランドアドバイザーグループ委員
東京 2020 オリンピック・パラリンピックマスコット審査会副座長
東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会スタッフ・都市ボランティアユニフォーム審査会座長
東京都・江戸東京きらりプロジェクト委員会委員・選定委員
石川県・伝統産業開発プロジェクトプロデューサー
シチズン時計株式会社「シチズン L」ブランドアドバイザー／ロエベ・クラフトプライズ・日本側スカウター
レクススニュー匠プロジェクト・アドバイザー／NPO 法人「サービスgrant」理事
一般社団法人ウィメンズ・エンパワメント・イン・ファッション(WEF)理事／一般社団法人日本和文化振興プロジェクト理事
カルチャー・ヴィジョン・ジャパン委員／WFP(世界食糧計画)顧問／講師:杉野服飾大学大学院

兵庫県宝塚市生まれ。祖母は三重県伊賀市(旧阿山町)出身。「VOGUE」、「ELLE」の副編集長を経て、2008 年より、「マリ・クレール」の編集長を務め、独立。ファッション、アート、デザインから、社会貢献、クール・ジャパンまで、カルチャーとエシカルを軸とした新世代のライフスタイルを提案。地場産業や伝統産業の開発事業、地域開発など、地域創生に数多く取り組む。2015 年より、文化庁日本遺産のプロデューサー事業を手掛ける。2018 年より、伝統工芸をベースにしたジュエルブランド「HIRUME」をスタートさせる。
三重県では、三重テラスクリエイティブディレクター、三重グッドデザイン(工芸品等)選定委員会委員を務める。

○小林 大輝(こばやし だいき)さん



株式会社 pray 代表取締役
Prime Arc Consulting 代表

三重県鈴鹿市出身。東京大学経済学部卒業後、2016 年よりデロイト・トーマツコンサルティングに入社。主に自動車業界と物流業界を担当し、事業戦略策定や業務改革の長期支援チームを主導、実施。2018 年に独立。大手上場企業にコンサルティングサービスを提供する傍ら、新規事業立上げを行い、2 度の事業売却を経験。

サウナ好きが高じ、三重県尾鷲市のヒノキ材を使ったプライベートサウナを制作して販売している側面もある。

○間瀬 雅介(ませ ただすけ)さん



株式会社 REMARE 代表取締役

愛知県出身、三重県鳥羽市在住。

幼い頃から海への冒険に憧れ航海士に。航海士&機関士として日本沿岸から南極海を航行。

フィリピン海沖で見た海洋プラスチック帯を見て、地球の課題を解決する為に陸に戻り研究開発を進める。

2021年8月海洋プラスチックのマテリアルサイクル事業を行う株式会社 REMARE を三重県鳥羽市で創業。

～地球の7割を遊び場に変える～